

## 国際会議「RNase H 2010」出張報告

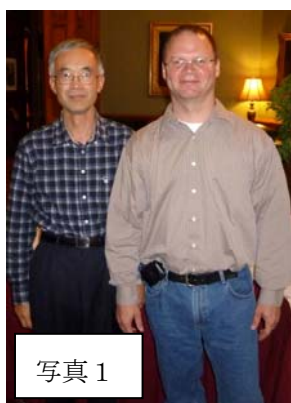
平成 22 年 9 月 27 日

金谷茂則

出張先：マギール大学（モントリオール、カナダ）

期間：平成 22 年 9 月 19 日—24 日

9 月 20 日（月）—22 日（水）にマギール大学で開催された国際会議「RNase H 2010」に出席し、マギール大学における国際交流の取り組みについて調査するとともに、本国際会議に参加していたマギール大学の Gotte 教授（写真 1）、米国ラトガール大学の Arnold 教授（写真 2）、米国 NIH（ノースカロライナ）の Kunkel 博士（写真 3）、ポーランド生物国際研究センターの Nowotny 博士（写真 4）らと大学院博士後期課程学生の交流（主として日本からの派遣）について情報交換を行った。本国際会議はマギール大学キャンパス内の McGill Faculty Club（写真 5、6）で行われた。プログラムは添付のとおり。



マギール大学は世界でもトップクラスの総合大学で 1813 年に設立されている。特に医学部が有名で、病院を 5 つも持っている。ノーベル賞受賞者はこれまで 4 名いるが、このうち 2 名 (Schally, 1977; Hubel, 1981) は医学部の卒業生である。他の 2 名は、物理 (Fitch, 1980) と化学 (Marcus, 1992) の卒業生である。マギール大学は芸術やスポーツでも有名

で、芸術ではこれまでに7名のオスカー賞受賞者を輩出している。また、スポーツでは学部、大学院の学生が、夏冬合わせてオリンピックで25個のメダルを獲得している（金メダルは5個）。さらに、卒業生の中にはカナダの総理大臣（2人）、カナダで初めての宇宙飛行士（1999年）、カナダで初めての女性教授（1890年）がいるなど、マギール大学は輝かしい歴史と伝統を誇る。当然のことながら入学するのは大変難しく、高等学校の成績が上位10%以内の学生に限られる。米国からの受験生も多く、2006年度の競争倍率は平均約6倍である。ちなみに、医学部（入学者数175）は約7倍、理学部（入学者数1074）は約6倍、工学部（入学者数651）は約5倍、芸術学部（入学者数1549）は約6倍である。入学者数は例年6000名弱で、そのうち約10%は外国人、留学生である。留学生はTOEFLの成績を提出することが義務付けられているが、理系の最低点はPBTで577点、CBTで233点とかなり高い（阪大の日本人学生の中にこの点数をとれる学生はいないかもしれない）。興味深いことに、授業料はケベック州の出身者、ケベック州以外のカナダ出身者、外国人の順に上がり、ケベック州の出身者（1700カナダドル、約18万円）と外国人（15000カナダドル、約160万円）の差は約9倍に達する。地元出身者の授業料が低いのは州税、国税を払っているためというもったもなし理由による。

生命先端工学専攻は、文科省の大学院教育改革支援プログラム（大学院GP）（平成21年度より組織的な大学院教育改革推進プログラム）を平成20年度から3年間の予定で実施している。課題名は国際連携大学院FDネットワークプログラム（International Collaboration Program of Graduate School for Faculty Development）である。本教育プログラムでは、大学院教員の海外ファカルティ・ディベロップメント（FD）研修、学生の海外インターンシップ、授業のHP公開、英語による大学院博士前期課程の講義、演習、研究指導などを実施することにより、大学院教員の英語による教授方法・教育方法を高め、大学院教育の国際化を推進することを目的としている。今回の調査で、カナダのマギール大学、米国のラトガー大学、米国NIH、ポーランドの生物国際研究センターと大学院博士後期課程学生の交流（阪大学生の受け入れ）を強く希望していることがわかったので、今後具体的な実施方法について検討することとした。

なお、Gotte教授、Arnold教授、Kunkel博士、Nowotny博士の所属は以下の通り。

Prof. Eddy Arnold

Center for Advanced Biotechnology and Medicine (CABM) and Department of Chemistry and Chemical Biology, Rutgers University

Piscataway, NJ 08854-5627, USA

Prof. Matthias Gotte  
McGill University  
Dept. of Microbiology and Immunology  
Duff Medical Building (D-6)  
3775 University Street  
Montreal, Quebec, Canada

Dr. Thomas A. Kunkel  
NIEHS, NIH, RTP, NC 27709, USA

Dr. Marcin Nowotny  
International Institute of Molecular and Cell Biology,  
Warsaw, Poland